

不登校特例校分教室「ねいろ」の開設後の運営状況について

1 主旨

令和4年4月1日に開設した不登校特例校分教室「ねいろ」について、開設後の運営状況について報告する。

2 運営状況

(1) 在籍生徒数（令和4年4月1日現在）

20名（1年生：8名、2年生：4名、3年生：8名） 各学年1学級 計3学級

(2) 運営スタッフ

正規教員4名（国語、数学、英語、保健体育）

非常勤講師7名（理科、社会、音楽、美術、技術、家庭）

養護教諭（非常勤）1名、スクールカウンセラー1名、教育支援嘱託員1名、

スクールサポートスタッフ1名、学校生活サポーター若干名

3 活動状況

【午前の活動】

登校時間を9時とし、登校後、一日の流れや目標、学習内容などを確認する「ウォームアップ」を実施している。その後、基礎的・基本的な学習に取り組んでいる。

【午後の活動】

午後は分教室のほか弦巻中学校の施設（体育館や運動場、特別教室など）を借用し、音楽・美術・技術・家庭の基礎的な学習に取り組んでいる。今後、自らの興味や関心に基づきテーマを設定し、「表現活動」「探究活動」「体験活動」を通じて学びを深める「キャリアデザイン学習」を実施していく。

下校時には1日の振り返りを行う「クールダウン」の時間を設けており、放課後においては、希望する生徒は教室もしくはオンラインで復習や学び直しを実施している。

4 今年度の入室相談の状況

入室相談については、随時受付を行っており、令和4年4月末日現在で新たに21名（1年生6名、2年生10名、3年生5名）からの相談があった。今後、入退室検討委員会にて入室の可否を決定していく。

5 運営について

今後は、生徒の出席状況や学習状況、入室相談の申し込み状況のほか、生徒や保護者の意見を把握し、より円滑な運営に向け必要な改善を図っていく。

また、学校型への移行についても、上記の内容を踏まえ、適正な規模や学級数等について精査し、学校跡地などの活用も視野に入れながら検討を進めていく。